



葛根で外地にいったのは、
わしひとりになった



夫婦いうたら
年が寄ってからが夫婦やな

黒田 與市さん（84歳）山崎町葛根

質問

戦争に行っておられたんですね。

黒田

21歳で徴兵検査を受けてね、しばらく内地にいてそれから満州白城子の西部101部隊に配属になった。そこは特攻部隊でしてね、特攻機の戦友を何人も見送った。中隊から10キロぐらい離れた50戸ほどの満州開拓団で休憩したとき、みれば「播州穴栗郡染河内村開拓団」と書いてあった。「なつかしな」いうて卵を10個もろたのを覚えとる。敗戦で大連の収容所に昭和23年の4月まであった。

質問

中国から帰ってこられてからすぐに奥さんと結婚されたんですか。

黒田

いいや、28歳のときやから、ほかのもんより少し遅かった。まだ、わしの妹なんかがかたづいとらんかったから、大所帯のところへ嫁いで気苦労も多かったと思う。妻は、ほんまに働き者と一緒に山行きしたり、電機工場で働いたり、風邪一つ引かんと元気やった。子どもは、娘が3人。順番に嫁いで家を離れていったときは、さびしかったけど「幸せになるんやたらええがいや」いうてね。妻とふたりになったんは、わしが還暦になった歳や。それから、70歳まで働いた。「もう1年だけ働くわ」言うてたとき妻が病気になってね。



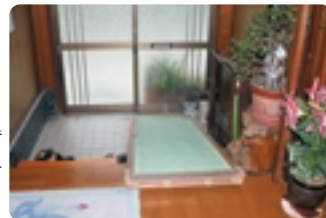
16年前お孫さんの七五三、京都にて

質問

そこから13年の奥様の介護の生活が始まったわけですね。

黒田

最初は吐血してね。胃か内蔵の病気やないかいうことで、最初は頭の病気やいうことがわからなかったね。いろいろ病院に連れて行って1か月ほどして、アルツハイマーという病気やいうことがわかった。医者からは、治りにくい病気やいわれたけど、そのときは、「わしが治したる」という意気込みやった。



手作りの車イス用スロープ



家の中も庭もいつもきれいにされています

質問

施設で見てもらおうとは思わなかったですか。

黒田

子どもも預けることをすすめたけど、わしも元気やったから看れるとこまで看る、かなんようなら考えよう思た。そやけど介護するようになって3、4年は苦しかった。夜も寝れんかって、正直いうて一緒に死のうと思たこともある。それがヘルパーさんに来てもらい、訪問入浴やデイサービスにお世話になるようになって、肩の荷がおりた。

今では介護が日課になって（妻に）してあげれることはなんでもしてあげよう思うようになった。若いときはようぶつかったけど夫婦いうたら年が寄ってからが夫婦やなとつくづく思う。

質問

最後に黒田さんの趣味をお聞かせ下さい。

黒田

働いてばっかりの生活やったので、これいうて趣味のようなもんはない。今は、朝起きたら体操して、葛根の道を歩いとる。以前は、1日誰とも話しせん日もあったけど、歩くようになって葛根の人ともよう話するようになった。楽しみいうたら畑で野菜をつくることぐらいかな。

※13年もの間奥様の介護をされている黒田さん。介護の苦労は並大抵のことではないと思います。黒田さんの話を聞かせていただいて、夫婦というものについてあらためて考えさせられました。介護というものを家族まかせにせず社会的な仕組みで支え合うということで始まった介護保険制度、夫婦愛を安心して支えられる制度でもあってほしいと思います。（山崎支部 阿曾秀樹）

穴栗市の福祉指標

（10月31日現在）

市民局	人口	65歳以上人口	高齢化率	H20.3月末高齢化率
山崎	25,720	6,053	23.5%	23.4%
一宮	10,055	2,832	28.2%	28.0%
波賀	4,536	1,436	31.7%	31.3%
千種	3,721	1,193	32.1%	31.9%
全体	44,032	11,514	26.1%	26.0%

資料は穴栗市福祉部提供

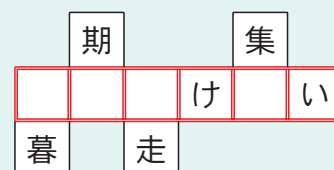
応募方法

はがきに、答えと住所、氏名を記入して、お送りください。正解者の中から抽選で5名の方に粗品を進呈します。
〆切り：平成20年11月30日
送り先：〒671-4137 穴栗市一宮町間賀300番地 穴栗市社会福祉協議会

前回の答えは『特定健診』でした。たくさんのご応募ありがとうございます。正解者の中から抽選で右の5名の方が当選されました。おめでとうございます。（敬称略）

※当機関紙に掲載している氏名及び写真等については本人の承諾を得て掲載しています。
※この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部を活用し、作成しています。

□にあてはまる漢字6文字を考えてください。
ヒント：12月1日から始まります。



No. 41 puzzle

伊川 みさ（一宮町） 川口 増美（波賀町）
春名ハル工（千種町） 大北佐代子（千種町）
井口 章子（一宮町）